AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2012
春　号
VOL.45
平成24年4月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話(0799)74-1020
FAX(0799)74-1021
http://www.yumebutai.org

国際会議件数
全国第7位

写真上右:谷あいに泳ぐ鯉のぼり
（淡路市江井）
写真上左:国際会議場別棟　茶室と桜
写 真 下 :国営明石海峡公園

2012年4月～12月開催予定の主な会議一覧

会　議　名	主なお問い合わせ先
4月	
京都光華女子大学心理学科　新入生研修	京都光華女子大学心理学科
京都光華女子大学キャリア形成学科　新入生研修	京都光華女子大学キャリア形成学科
平成24年度近大姫路大学新入生学外研修	近大姫路大学
GFPC2012	SEMIジャパン
5月	
新学術領域研究 ゲノム複製・修復・転写のカップリングと普遍的なクロマチン構造変換機構　領域会議	大阪大学
第10回幹細胞シンポジウム	同実行委員会
第11回日韓形成外科学会	徳島大学医学部形成外科学
神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科フレッシュマンセミナー	神戸芸術工科大学デザイン学部
第8回平成医療福祉グループ学術大会	NPO法人平成医療福祉研究会
第51回日本公衆衛生学会近畿地方会	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課
6月	
生物活性天然物生合成国際シンポジウム	新学術領域研究統括班
JSTさきがけ「脳情報の解読と制御」第8回領域会議	JSTさきがけ「脳情報の解読と制御」
7月	
第14回固定チームナーシング近畿地方会	固定チームナーシング近畿地方会
次世代シグナル伝達医学グローバルCOE研究討論会	神戸大学医学部
第25回 回路とシステムワークショップ	同実行委員会
8月	
第13回アジア太平洋フォーラム・淡路会議	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
NAISTバイオサマーキャンプ2012	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科
9月	
日独血管外科学会	日独血管外科学会実行委員会
第7回看護診断セミナー	関西看護医療大学
第12回あわじしま感染症・免疫フォーラム	大阪大学微生物病研究所実行委員会
The 13th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging	JSAWI事務局
第50回作業療法全国研修会	社団法人日本作業療法士協会
10月	
Kyoto University Global COE "Center for Frontier Medicine" International Symposium/Retreat2012	京都大学医学研究科
第69回日本財政学会	日本財政学会
11月	
ICPE2012	同実行委員会
第8回国際3Rシンポジウム	同実行委員会
12月	
ICNME2012	独立行政法人情報通信研究機構

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

第11回日韓形成外科学会

17-19 May 2012

徳島大学医学部
形成外科学
教授
中西秀樹

本学会は1992年に日本形成外科学会並びに韓国形成外科学会の下に設立され、2年に1回（日本では4年に1回）、日本および韓国にて交互に開催されてまいりました。今回が第11回目の開催となります。学会のテーマは“The Fusion of Science and Art”です。このテーマをもとにパネルディスカッションを考え創傷治癒、乳房再建術、頭頸部再建術、顔貌形成術、唇裂口蓋裂、手外科手術、足潰瘍・救肢手術、眼瞼形成術、レーザー&フィラー、リンパ浮腫、頭蓋顔面手術、顔面神経麻痺などの形成外科で最も関心の高い話題を取り上げました。一般演題では、微小血管外科、胸部形成術、美容外科、一般再建外科、皮膚腫瘍、基礎研究&創傷治癒、手外科手術、頭頸部手術、唇裂口蓋裂、慢性潰瘍&リンパ異常、耳介形成術なども多数発表があります。本学会では日本、韓国両国の研究者、専門家による研究成果の発表と意見や情報の交換により、両国の患者の利益となるように、形成外科全般にわたる疾患や治療技術について最新の知識を身につけ、当該分野における研究が進展するとともに、最先端の科学的知識・技術を含む研究成果は医薬品開発研究の関連分野にも寄与すると確信しております。また若い形成外科医の国際学術活動のよい経験となることを祈念いたします。

開催に寄せて

International Conference of Natural Products Biosynthesis (ICNPB) 生物活性天然物生合成国際シンポジウム

17-22 Jun. 2012

新学術領域研究「生合成マシナリー:生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」領域代表
北海道大学大学院
理学研究院
教授
及川英秋

本国際シンポジウムは、文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究「生合成マシナリー:生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」の活動の一環として、平成24年6月17日～22日に淡路夢舞台で開催されます。最近必要なゲノム情報が短時間で入手可能となったほか、遺伝子発現系の整備が進み、生合成酵素を使った多様な有機化合物の合成が可能な時代を迎えました。この状況をふまえ、本研究領域では、従来の有機合成とは全く異なる方法論による有用物質生産法を提案します。具体的には、標的化合物の構造およびゲノム上の設計図（生合成遺伝子）を解読し、論理的に反応経路や出発物質を推定する手法の開発、多段階の変換反応を解き明かしながら、既存の手法、新たに考案された遺伝子導入法の開発などを行い、代表的骨格合成酵素と典型的修飾酵素からなる生合成マシナリーを再構築して有用物質の生産を行うとともに、分子進化的に興味深いその多様性創出の機構を探ることを目指しています。本シンポジウムでは、国内外よりこの分野における第一線研究者の参加を募り、領域構成員の研究成果を発表するとともに、天然有機化合物生合成研究の現状と今後のあり方を議論するなど、国内の若手研究者に国際的研究者との交流の場を提供するものであります。

開催を終えて

第32回日本肥満学会

23-24 Sep. 2011

第32回日本肥満学会会長
自治医科大学生理学講座
統合生理学部門
教授
矢田俊彦

第32回日本肥満学会は、2011年9月23日～9月24日『全身・脳クロストークと肥満症の克服』のテーマの下、栃木県宇都宮市にて開催の予定でしたが、3月11日の東日本大震災を受け、淡路夢舞台に移しました。準備に大幅な遅れが生じ、地元を遠く離れた地での開催であり、多くの不安がありました。さらに学会直前に台風が通過し心配しましたが、幸い会期中は台風一過の快晴となり淡路の美しい景観のもとで学会が行われ、私は「強運の持ち主」と言われました。

かつて無い400題以上の一般演題が集まり、1200名以上の参加者（特別講演の3名の米国学者をはじめ海外からも数十名）が集う盛会となり、活発な質疑応答がなされました。肥満症診断基準2011が発表され、肥満症専門医・生活習慣病改善指導士制度が発足し、学会の躍進の年となりました。また懇親会にも沢山の方が出席され、地元栃木（宇都宮餃子、ココワイン）と開催地淡路の味覚（鱧天ぷら、明石焼）の実演を楽しみ、親睦を深めていただけました。これも、主催者の種々のお願いに快く対応してくださった夢舞台国際会議場、ウェスティンホテルの皆様のご協力のお陰であり、この場を借りて感謝いたします。「終りよければ全てよし!」

第1回アジアエアロビクス選手権大会

4-6 Dec. 2011

全日本アマチュアエアロビクス連盟　理事長
アジアエアロビクス協会
会長
戸田大久

第1回アジアエアロビクス選手権大会が兵庫県淡路島・夢舞台で初めて開催されました。アジア各国の選手団と日本のジュニアからシニアまでのトップ選手達約300名が参加しました。

素晴しいロケーション、五つ星ホテルウェスティン、そして整備の整った国際会議場での国際大会は海外・日本選手団共に大喜びでした。

エアロビクスは生涯スポーツです。日本では子供からシニアまで約300万人の愛好者がおります。次年度は地元のエアロビクス愛好者の方々へ、日本のトップインストラクターから楽しいレッスンを提供したいと考えております。又、日本とアジアの国々との国際交流の場として、各種催事も考えております。この国際大会を通じて、淡路島の振興に微力ですがご協力をしていきたいと思います。

最後に今回大会開催にあたり、兵庫県&淡路市の皆様方に大変お世話になり、又、円滑な大会運営に多大なご協力をいただいた夢舞台&ウェスティンホテルの皆様方に感謝いたします。

国際会議件数 2010年全国第7位 11年連続全国上位を記録!

日本政府観光局（JNTO）が発表した2010年の国際会議統計において、淡路夢舞台国際会議場は国際会議開催件数26件の実績を残し、全国の国際会議場のなかで第7位になりました。大都市の国際会議場が名を連ねる中、毎年このように上位を維持できることは、ご利用いただいた大勢の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。今後も快適な会議環境をご提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

古事記編纂1300年 国生み神話の島 淡路島

日本最古の歴史書「古事記」が和銅5年（712年）に編纂されてから、今年で1300年を迎えます。その「古事記」の冒頭を飾る国生み神話の舞台である淡路島。壮大な神話に彩られた島の各地には、古事記ゆかりの地が数多くあります。

～日本発祥の地～

「古事記」によると、大地がまだ固まらない神代の昔、天つ神たちは、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）・伊弉冉尊（いざなみのみこと）に、その固まらず漂う大地を完成させるよう命じ、天の沼矛（あめのぬぼこ）を与えました。二神が天の浮橋にたって、天の沼矛で混沌とした海原をかき回し、その矛を引き上げたときに矛先からしたたり落ちる滴が固まって「おのころ島」ができました。二神はその島に降り立ち、夫婦となって日本を構成する島々を生み出していきました。最初に淡路島、次に四国と順々に8つの島を生み、日本の国を造られたとあります。

沼島の上立神岩

「おのころ島」の所在地については色々な説がありますが、南あわじ市の沼島（ぬしま）もその一つにあげられます。高さ30mの奇岩、上立神岩（かみたてがみいわ）は国生み神話にでてくる「天の御柱」とも言われています。

「御食国」～古来、朝廷に食材を献上する国～

国生み神話は、もとは淡路の海人族（あまぞく）が伝えた島生み神話であったと言われています。それが「古事記」や「日本書紀」に取り入れられ、その冒頭にすえられるようになったのは、大和朝廷が、交通の要衝であり食材も豊富であった淡路に屯倉（みやけ）をおいて、淡路島を直接の支配下にし、さらに「御食国（みけつくに）」と呼んで食料貢献の特別な地としたことに関係します。

このようなことから、淡路の海人が朝廷に出仕するようになり、淡路の神話が宮殿に伝えられ、古事記や日本書紀の編纂の時期に壮大な「国生み神話」となって語られたのであろうといわれています。

御食国としての歴史が残る淡路島は、現在も海産物をはじめ、玉ねぎや淡路牛など豊かな食の宝庫として知られています。

10月～2月に開催された主な会議 LIBRARY

The 4th Conference on Biosynthesis of Plant Cell Wall（10月）

AMAM2011（10月）

平成23年度秋季講演大会（10月）

第1回分子活性化国際シンポジウム（11月）

第5回日露分子磁性・分子スピンデバイス国際会議（11月）

IPR Retreat 2011（11月）

The 24th KKCNN Symposium on Civil Engineering（12月）

IFReC SIgN Winter School on Advanced Immunology（1月）

あわじ環境未来島国際シンポジウム（2月）

周辺施設のイベント情報

淡路花祭2012

5/31（木）まで

夢舞台温室　奇跡の星の植物館

花遊山ー花見の庭ー & 淡路夢舞台薔薇祭

奇跡の星の植物館では3月から5月にかけて和洋の異なるお庭をご覧いただけます。前半は桜が咲き乱れる「花遊山-花見の庭」。日本最大級の空間で一足先に大きな枝垂桜が楽しめる和の庭です。早咲きの桜などを入れることにより、いつお越しいただいても満開の桜を楽しめます。後半は4/28（土）～5/31（木）まで200種類の薔薇が彩る「淡路夢舞台薔薇祭」を開催。今年は日中国交40周年を記念して中国・日本の原種バラを集めた「アジアのバラ～バラの来た道」展も開催。5/3～5/5にはオペラなどの音楽イベントやあわじカフェ&マルシェなど楽しいイベントが盛りだくさん。家族で楽しめる淡路夢舞台に、是非皆さんお越しください!!

薔薇祭期間中は屋外のローズガーデンも見ごろを迎えます。

花遊山ー花見の庭ー 4/22（日）まで。
期間中は桜茶や花見弁当の販売も。

淡路島　国営明石海峡公園

関西最大級の春季花修景として定着した国営明石海峡公園では、開園10周年を迎え、2012年の春は、3/17～5/13までの間、「春のカーニバル」を開催いたします。特に、4月上旬～中旬に見頃を迎える、関西最大級を誇るチューリップ大花壇は一見の価値あり。昨年を上回るチューリップの植栽により、迫力ある華やかな春の風景をご堪能いただけます。

あとがき

やわらかな日差しが心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

淡路島に花の名所はたくさんありますが、そのなかで私のお勧めのスポットをご紹介します。淡路島北部の丘陵地にある「あわじ花さじき」は、なだらかな高原一帯に菜の花やビオラなどが咲き誇り、大阪湾を背景に花の大パノラマをご覧いただけます。また、「淡路島公園」の展望広場は、桜並木を通り抜けた先に明石海峡大橋が望める絶好のスポット。そして、夢舞台に隣接する「明石海峡公園」。広大な敷地に植えられたチューリップの大花壇は見応え充分で、存分に春を楽しんでいただけると思います。見どころ満載の淡路島でゆったりとお花巡りをされてみてはいかがでしょうか。（川東）

新スタッフのご紹介

新しく会議誘致担当2名とコンファレンスコーディネーター1名が加わりましたのでご紹介します。

はじめまして、この度、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場 コンファレンス部誘致企画課に入社しました、北林　仁と申します。前職は、コンタクトレンズケアメーカーにて12年間 眼科領域を中心とした営業をしていました。畑違いの職種でありますが、今までの経験を活かして、お客様のご意見・ご要望のもとに、必要とされるものをご提案し、各分野での成果を生み出す有意義な会議開催を支えていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

趣味はスポーツです。中学・高校は陸上部、大学・社会人にてアメリカンフットボール部に所属していました。見かけによらず、体育会系です。

最近は六甲山を中心としたトレイルランニング、トレッキングに精を出しています。休みの日には朝から六甲山でマイナスイオンを浴びながら（修行僧のように?）走っています。

随時、トレイルランニングレースに出場しますので、ご一緒できる機会がございましたら是非お願いします。

誘致企画課
課長補佐
北林　仁
Hitoshi KITABAYASHI

私のモットーは初志貫徹です。留学という目標に向け、直接大学に問合せ書類作成し、自分で推薦状の書き方を調べ担当教師に例文として渡し推薦状を書いて貰ったり、渡航手続等も自分で用意し留学を実現させました。

入学後は卒業という目標に向け、寮に入り英語だけの環境を作り、クラスでスピーチやディベートが出来るレベルまで向上させました。また、滞在費を稼ぐ為に日中は日本料理店などでアルバイトをし、夜間授業を受講しサンフランシスコの大学でB/Sを取得しました。

米国自動車部品販社勤務時には、「made in Japan」を日系進出メーカーだけではなく米国企業にも販路拡大という目標を自分で設定し、部品が米車サイズに合う様アジャスターの製作を提案、それを既存品に備えて米国メーカーに営業を行い契約を取っていました。

次の将来への目標は、故郷淡路島の様々な魅力（歴史ある風光明媚な景色、温暖な気候が育てる淡路ブランド海産物や農産物、将来日本のモデルになりうる未来島構想など）を会議誘致の業務を通し、国内外から来島される方にPRし、多くの人に島の魅力を伝えていきたいと思っております。

誘致企画課
係長
小森崇弘
Takahiro KOMORI

4月に会議支援課に入社いたしました、中村　楽と申します。大学を卒業してから4年間、地元である兵庫県を離れて愛知県で働いていましたが、何か新しいことにチャレンジしたいと思って転職を決意し、この度こちらに戻ってまいりました。大好きな地元の地で暮らし、交通の便が良くて通勤しやすく、なおかつ緑が多く美しい環境の中で働く機会を得られたことに大きな喜びを感じています。そのような素晴らしい周辺環境で、それだけではなく、会議としても皆様に満足してもらえるよう仕事に励みたいと意気込んでおります。まだまだ学ぶべきことは多くありますが、夢舞台の一員として完璧な会議のサポートができるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

会議支援課
コンファレンスコーディネーター
中村　楽
Raku NAKAMURA